北海道議會時報

第 22 巻 第 9・10 号
昭 和 45 年 9・10 月

北 海 道 議 会 事 務 局

…… 第 9・10 号 目 次 ……

議会の動き

議会運営委員会……1

常任委員会……1

特別委員会……8

- 総合開発調査特別委員会
- 石炭対策特別委員会
- 札幌オリンピック冬季大会特別委員会
- 北方領土対策特別委員会

会　　合

全国都道府県議会議長会……11

10都道府県議会議長会……11

北海道東北6県議会議長会……11

資　　料

道内主要政党および道議会各派役員一覧……12

第2回定例道議会において議決を経た条例の公布調……14

8・9月のメモ

表紙写真

―北海道百年記念塔落成―

道民課提供

議会の動き

議会運営委員会

○9月22日　午前10時42分、議会運営委員会室において開議、午前11時散会、委員長　奥野　善造(自民)

① 委員長から、会派の異動について、8月22日付けをもつて、公正クラブから田苅子議員が脱退し、名称を民社党とする旨および自民党から田苅子議員が加入した旨ならびにこれに伴う各会派の議員数（自民党57人、社会党38人、公明党2人、共産党1人、純正無所属1人、民社党1人、欠員5人）について報告。

② 事務局長から、会派異動に伴う議席の一部変更について、議席表により説明の後、委員長から、これをはかり、異議なく議席表のとおり決定。

③ 委員長から、企業会計決算特別委員会において継続審査中の付託案件の審議結果について報告。

④ 第3回定例会の招集日を9月29日とすることおよび会期を10月20日まで22日間とすることに決定。

⑤ 第3回定例会のスケジュールについては、日程案（9月29日提案説明、43年度企業会計決算の認定、9月30日から10月4日まで休会、10月5日代表質問、10月6日から9日まで一般質問、9日予算特別委設置、10日、11日は休日、13日から17日まで予算特別委審査、18日は休日、19日、20日本会議）のとおりとすることに決定。

⑥ 総務部長から、恵庭町の市制施行案件および道公害審査会（仮称）設置条例案件の先議方について要請があつた。

⑦ 委員長から、会派の異動に伴い今回独立した民社党に対する本年の発言時間の割り当ては15分とすることについてはかり、異議なくそのことに決定。

⑧ 委員長から、元道会議員石田連治君（6月30日）および山田正元君（8月17日）の逝去について報告。

⑨ 教育庁管理部長から、8月11日発生の道立砂川南高等学校の火災状況および措置について説明および陳謝の意の表明があつた。

⑩ 管財課長から、議場の撮影用照明の取り付けカ所等について説明を聴取。

常任委員会

総務委員会

○8月4日　午前11時44分、第5委員会室において開議、午後2時4分散会、委員長　島田　薫(自民)

一　般　議　事

① 委員長から、さきの委員会において要求のあつた公害に関する資料の提出があつた旨を報告。

② 委員長から、さきに実施した公務員の住宅手当創設に関する中央折衝の経過について、報告書により報告、異議なくこれを了承。

③ 総務部長から、8月1日発生の上川、北空知地方集中豪雨災害による被害状況について説明の後、

野村委員(公明)から、上水道の復旧対策、被災地域の防疫対策、河川改修対策、イモチ病の発生予防および被災者に対する経済援助の対処策、公共下水道整備に対する補助わく拡大の必要性および道費補助の考え、

井口委員(社会)から、被災地の諸対策実施状況に関する現地調査の必要性

について質疑および意見があり、総務部長から答弁、委員長から応答。

④ 総務部長および企画部長から、46年度開発予算要望事項の概要について説明の後、

五十嵐委員(自民)から、函館における大気汚染実態調査の必要性、商船大学にかかる当初の名称との相違、

村本(政)委員(社会)から、国立医科大学の要求カ所数と設置場所および設置年次の目標

について質疑があり、企画部長および総務部長から答弁。

⑤ 村本(三)委員(社会)から、公害対策に関し、光化学スモッグの実態は握と対策、排出ガスの測定器購入の必要性と考え方、除草剤による被害防止に対する道の考え方および農薬による障害の見通し、千歳空港の軍民共用による危険性および関係機関への申し入れ、

井口委員(社会)から、光化学スモッグの測定器設置の必要性、測定器の配置と記録場所の違う理由、

野村委員(公明)から、公害対策本部の設置に対する考え、条例再検討の考え、

池島委員(社会)から、公害に関し、大昭和製紙の廃液に対する水試の調査結果、立ち入り検査の可能性および今後の対応策、中小企業者に対する官公署の需用契約についての発注増加に対する措置、事業協同組合設立に対する措置、軽印刷価格の現状に対する考え、

道の発注の実態と対処策、中小企業育成のための検討と価格の是正、

村本(政)委員(社会)から、北方墓参の見通しと進行状況

について質疑、意見および要望があり、企画部長、道警交通部長、公害課長および総務部長から答弁。

○9月4日　午後2時6分、第5委員会室において開議、午後4時 4 分散会、委員長　島田　薫(自民)

一　般　議　事

① 委員長から、8月28日挙行の登別市の市制施行式典ならびに9月1日挙行の砂原町の町制施行式典にそれぞれ委員を派遣した旨を報告、異議なくこれを了承。

② 井口委員(社会)から、さきに実施した上川、北空知地域集中豪雨災害の現地調査の経過について報告、異議なくこれを了承。

③ 総務部長から、台風9号による被害状況と措置対策について説明の後、

井口委員(社会)から、資金の融資について農務部と総務部の両者で検討方

について意見があつた。

④ 総務部長から、上川、北空知地域集中豪雨災害に関する応急復旧対策に要する経費の専決処分について説明。

⑤ 総務部長から、北海道百年記念塔について説明の後、

野村委員(公明)から、記念塔の今後の維持管理についての予算に対する考え方

について質疑があり、総務部長から答弁。

⑥ 交通安全対策事務局長から、交通安全対策基本法の概要について説明。

⑦ 企画部長から、北海道過疎地域振興方針案について説明の後、

池島委員(社会)から、広域市町村圏に対する道の考え方、過疎地域市町村をいずれかの圏域に入れることの基本的な考え方

について質疑および意見があり、企画部長から答弁。

⑧ 企画部長から、公害防止対策について説明の後、

池島委員(社会)から、汚水による河川、海の汚染の全道的な実態調査の必要性、自動車交通量の増加に伴う排出ガス対処方策、冬期暖房による大気汚染防止対策

等について質疑および意見があり、企画部長、公害課長および道警総務部長から答弁。

⑨ 委員長から、恵庭町の市制施行に関する現地調査および公害対策の推進状況に関する道内調査ならびに公務員の寒冷地手当の改善に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、派遣期間については、委員長に一任することとした。

⑩ 村本(三)委員(社会)から、千歳空港の整備に関し、ハイジヤツク対策ならびに航空関係機関と民間人を含めた連絡協調体制の必要性、千歳警察署員の空港配置の考え、滑走路の延長および幅員の拡大、検疫体制強化等の諸対策、千歳駐留の米軍くま基地の撤退に伴う跡地利用に対する道の基本的態度、労務者対策、

村本(政)委員(社会)から、千歳空港におけるジヤンボ機離着陸の可能性

等について質疑および意見があり、企画部長および道警総務部長から答弁。

厚生委員会

○8月4日　午後2時10分、第9委員会室において開議、午後3時30分散会、委員長　新谷　市造(自民)

請願、陳情の審査

請　願

第301号　原爆被爆者の医療等救護措置の件　(保留)

陳　情

第157号　妊産婦、乳幼児に対する栄養食品の支給範囲拡大の件　(採択)

一　般　議　事

① 民生部長および衛生部長から、8月1日発生の局地大雨災害状況について説明の後、

西尾委員(自民)から、旭川市および上川町以外の措置、

大石委員(社会)から、当麻町および愛別町に対する厳重な防疫

等について質疑および要望があり、民生部長および衛生部長から答弁。

② 民生部長および衛生部長から、昭和46年度開発予算の要求方針について説明の後、

大石委員(社会)から、要求施設数と要求額および単価に対する昨年との比較、町村財政に対する考慮方、

笠島委員(社会)から、事業ごとの補助率に対する考え方

について質疑、意見および要望があり、民生部長および衛生部長から答弁。

③ 大石委員(社会)から、北見療養所長の退職に伴う措置、医師充足の考え方、公衆浴場の値上げに伴う生保世帯補助の決定の遅延と予算額の適否、回数制限、クーポン利用等の検討方、

西尾委員(自民)から、北見療養所の内部環境の研

究、医師の複数派遣方
等について質疑、意見および要望があり、衛生部長から答弁。
④ 委員長から、46年度開発予算要望に関する中央折衝の実施および道内厚生事情の調査の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、実施時期については、委員長に一任することとした。

○9月4日 午後2時10分、第9委員会室において開議、午後2時52分散会、委員長 新谷 市造(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第325号 老人福祉施設(特別養護老人ホーム)新設の件 (採択)

一 般 議 事

① 委員長から、昭和46年度開発予算の要望および献血に関する基本法制定に対する中央折衝の経過ならびに胆振支庁管内における民生、衛生事情の調査の経過について報告書により報告、異議なくこれを了承。
② 衛生部長から、殿法華村における赤痢の発生状況と予防、治療対策について説明。
③ 衛生部長から、秋の定期種痘に関する実施方針の概要について説明の後、
合坪委員(社会)から、8月13日の会議に政令市の保健所長の出席の有無、リスター株の副反応の内容と安全性確認の有無、市衛生局、道および医師会の医療事故処理協定の経過と結論の出るまで接種時期を延長する考え、予防接種実施の場合十分な予診の実施方
等について質疑、意見および要望があり、衛生部長から答弁。
④ 大石委員(社会)から、さきに新聞報道のあつた岩見沢緑成園の調査の必要性
について意見があり、委員長から応答。

商工労働委員会

○8月3日 午前11時53分、第2委員会室において開議、午後零時12分散会、委員長 竹内 重雄(社会)

一 般 議 事

① 商工部長、労働部長および企業局長から、昭和46年度開発関係予算主要要望事項について説明。
② 商工部長および労働部長から、イトムカ鉱業所の合理化に関するその後の経過について説明の後、
小川委員(自民)から、職業病患者の就職に対する考え方
について質疑、労働部長から答弁。

○9月3日 午後零時42分、第2委員会室において開議、午後零時50分散会、委員長 竹内 重雄(社会)

一 般 議 事

労働部長から、千歳駐留軍関係離職対策について説明を聴取の後、
高橋(鉱)委員(公明)から、軍人、個人が雇用しているメイド等の就職対策
について質疑があり、労働部長から答弁。

農 務 委 員 会

○8月4日 午後2時25分、第7委員会室において開議、午後4時8分散会、委員長 石畑 久成(自民)

一 般 議 事

① 委員長から、前回の委員会において要求のあつた「総合資金融資条件と農業経営の推移に関する試算」ならびに「根釧地域てん菜耕作および乳牛の飼養状況」に関する資料の提出があつた旨を報告。
② 農務部長等から、8月1日発生の上川および北空知地方集中豪雨による農業関係被害の状況と措置対策について説明の後、
大方委員(社会)から、被害農家に対する徹底した指導体制の強化、
笠井委員(社会)から、被害戸数および被害農家に対する救済措置
について質疑および要望があり、農務部長から答弁。
③ 農務部長から、ホクレン磯分内中斜里製糖工場の指定製造施設変更の経緯およびてん菜集荷区域の改正の経緯について説明の後、
二瓶委員(自民)から、根室と釧路を分離しないことについて要望があり、農務部長から答弁。
④ 農務部長から、昭和46年度開発関係予算要望について説明の後、
笠井委員(社会)から、事業費の伸びた場合の結果とその集計資料および農業予算全体の資料
について質疑および要求があり、農務部長から答弁。
⑤ 委員長から、昭和46年度国費予算要望に関する中央折衝ならびに集中豪雨による災害現地調査の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、実施時期等については、委員長に一任することとした。
⑥ 新村委員(社会)から、今回提出の根釧地域のてん菜耕作および乳牛の飼養状況に関する資料に関し、昭和43年度調査の理由および最近の資料、牛乳集荷台の設

置に関し、国道について積極的に対処されていない理由およびその経過と責任ならびに早期解決方、

大方委員(社会)から、農作物の無毒防除対策に関し、農林省の農薬の無毒性および天敵保護施策の重点的検討に対し道が参画する考え方、農業生産資材の価格に関し、安定対策の必要性、農業機械の輸入依存による流通価格への影響および関税引き下げの必要性と農林省に要請する気構え

について質疑、意見および要望があり、農務部長から答弁。

○9月3日　午後1時46分、第7委員会室において開議、午後4時44分散会、委員長　石畑　久成(自民)

一　般　議　事

① 委員長から、前回の委員会において要求のあつた「昭和46年度国費予算要望に係る農用地開発計画面積」、「根釧地域主要町村の酪農と農業生産額」の資料の提出があつた旨を報告。

② 大方委員(社会)から、上川管内および空知管内における集中豪雨による被害状況の調査概要について、小堀委員(社会)から、後志管内における台風による果樹等被害状況の調査概要についてそれぞれ報告、異議なくこれを了承、関連して、農務部長から、台風9号による農作物等被害状況について説明の後、

新村委員(社会)から、国に提出する被害額、連年被災の果樹地帯への積極的な措置方、りんご黒星病の被害面積とその措置対策および今後の見通し

について質疑および要望があり、農務部長から答弁。

③ 三上委員(自民)から、昭和46年度農業関係国費予算に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、関連して、農務部長から、昭和46年度農林省予算主要項目について説明の後、

新村委員(社会)から、金融問題に関連し、国ばかりに依存する道の態度と道負担の考え方および市町村財政に対する研究方、

大方委員(社会)から、米過剰に関連し、稲作転換地区の優先指定に対する道の考え方、

三上委員(自民)から、生乳流通合理化促進事業に関し、補助対象の検討方

について質疑、意見および要望があり、農務部長から答弁。

④ 農務部長から、8月29日現在における農作物作況状況について説明。

⑤ 委員長から、道内の農業事情等の調査の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、実施時期等については、委員長に一任することとした。

⑥ 新村委員(社会)から、十勝管内における雪印乳業、明治乳業の新設に関連し、ホクレンの意見の内容、増設に対する道の指導処理方針、工場新設の許可に対する道の考え方、工場配置の合理化に対する指導理念、

大方委員(社会)から、生乳の長距離輸送に対する考え方、関東地方の酪農生産者の反対運動の有無、積極的に道外に送り込む必要性と大胆な対処方、

三上委員(自民)から、生乳の長距離輸送問題に対する慎重な取り扱い方

等について質疑、意見および要望があり、農務部長から答弁。

本日聴取した陳情

台風9号による被害対策について

余　市　町　長

建設委員会

○8月3日　午後1時54分、第4委員会室において開議、午後2時25分散会、委員長事故のため副委員長　作田　政次(自民)

一　般　議　事

① 土木部次長および建築部長から、昭和46年度北海道開発関係予算要望主要事項について説明を聴取。

② 副委員長から、道路整備促進に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、日程等については、委員長に一任することとした。

③ 土木部次長から、第6次道路整備5カ年計画の策定および財源措置等について、建築部長から、函館市道営高層公営住宅(船見団地)の新築工事に関する専決処分予定についてそれぞれ説明を聴取。

④ 土木部次長および建築部長から、8月1日発生の上川および北空知地方集中豪雨による土木施設関係および住宅関係の被害状況と措置対策について説明を聴取。

○9月4日　午後1時21分、第4委員会室において開議、午後3時5分散会、委員長　渡辺　省一(自民)

一　般　議　事

① 委員長から、昭和46年度北海道開発予算に対する中央折衝の概要について報告、異議なくこれを了承、関連して、土木部長および建築部長から、昭和46年度北海道開発予算概算要求の概要について説明。

② 土木部長および建築部長から、上川、北空知地方の集中豪雨ならびに台風9号による被害額と措置対策について説明。

③ 野中委員(社会)から、都市計画事業に関連し、函館

トラピスト付近の市街化調整区域内における宅地造成の動きと都市計画に対する行政指導の適否、農地転用申請の届出月日、適切な対処方、

岡田(義)委員(社会)から、公聴会における各層の意見に対処する必要性と考え方

等について質疑、意見および要望があり、土木部長から答弁。

農地開拓委員会

○8月4日　午前11時45分、第3委員会室において開議、午後零時30分散会、委員長　道下　美作(社会)

一般議事

① 農地開拓部長から、昭和46年度北海道開発公共補助事業予算要望額について説明の後、

津川委員(公正ク)から、予算要望額に関する道の考え方、農林省内における要望額の内容、

影山委員(社会)から、要望額の確保に対する見通し、直轄事業の減少に伴う補助事業の増加に対し、道の上置き措置の必要性

について質疑、意見および要望があり、農地開拓部長から答弁。

② 農地開拓部長から、上川、北空知地方集中豪雨災害による被害状況について説明の後、

津川委員(公正ク)から、頭首工を今年の河川改修計画にあるところを災害復旧費で修理することについての可否

について質疑および意見があり、農地開拓部長から答弁。

③ 委員長から、土地改良事業推進に関する道内調査の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、日程等については、委員長に一任することとした。

○9月3日　午後零時15分、第3委員会室において開議、午後1時36分散会、委員長　道下　美作(社会)

一般議事

① 委員長から、さきに実施した昭和46年度国費予算要望に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 農地開拓部長から、昭和46年度国費予算関係の概要について、資料により説明の後、

影山委員(社会)から、開発庁の要求に関連し、農林省における要求額の内容、農用地開発事業に関し、3期計画において増反実施する考え方、畑作地帯における土地改良事業の内容、補助率アップを認められない場合の道費上置き措置の必要性、

委員長から、例年道の要望額と開発庁の要求額の格差の有無

等について質疑、意見および要望があり、農地開拓部長から答弁。

③ 天谷委員(自民)から、開拓営農指導員と開拓保健婦の配置と勤務の現況、開拓農家の負債整理に関連し、借り換え限度額を110万円から220万円に引き上げられた場合の事務処理方法、220万円以上の負債および離農者の負債に対する処理方策、離農補助金の増額補正を組む意思、開拓農協の再建対策、農道補修費の要求額の内容、

委員長から、開協の負債整理に関し、解散による徴収停止と金融機関との関連等に対する見解

について質疑、意見および要望があり、農地開拓部長から答弁、議事進行の都合により午後1時20分休憩、午後1時35分再開し、直ちに散会。

水産委員会

○8月4日　午後零時29分、第6委員会室において開議、午後零時42分散会、委員長　大内　三治(自民)

一般議事

① 委員長から、当委員会付託の請願、陳情については近い将来、できるだけ結論を出すよう努力することとし、本日は保留とすることをはかり、異議なくそのことに決定。

② 水産部長から、道漁連副会長の横領事件の概要について説明の後、本件については、必要がある場合、委員会を開き、事態の推移に対処していくことに決定。

③ 水産部長から、第11八木丸のだ捕にかかるその後の経過について説明。

④ 46年度水産関係国費予算ならびに水産関係懸案事項に関する中央折衝の実施ならびに9月定例会前に道内水産事情の調査を実施することをはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○9月2日　午後2時35分、第6委員会室において開議、午後4時18分散会、委員長　大内　三治(自民)

開議に先立ち、道漁連会長から、漁連の不正事件について陳謝の意と見解の表明があつた。

一般議事

① 委員長から、さきに実施した46年度国費予算要望に

関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承。

② 水産部長から、第11八木丸の乗り組み員釈放に関する経過ならびに台風9号による漁業関係被害および復旧対策について説明。

③ 武藤委員(社会)から、漁連の不正事件に関連し、監督官庁の責任、事件の発生原因、問題点および再建策、漁連の本質的なあり方、問題の重要性にかんがみ小委員会設置の必要性、

中松委員(自民)から、小委員会の設置について理事会で協議方

について質疑および意見があり、水産部長から答弁、委員長から応答、理事会協議のため午後3時44分休憩、午後4時16分再開し、委員長から、理事会協議の結果、問題の重要性から、水産業協同組合組織運営に関する小委員会を設置することについてはかり、異議なくそのことに決定、小委員会の構成は5名とし、小委員は、委員長の指名により、異議なく奥野(一)委員(社会)、高橋(正)委員(自民)、佐々木(豊)委員(自民)および武藤委員(社会)を選任、なお、小委員会において調査等の必要が生じた場合の派遣委員等については、委員長に一任することとした。

本日聴取した陳情

宮津の漁港指定について

奥尻町長

○9月2日　午後4時24分、議会運営委員会室において水産業協同組合組織運営に関する小委員会を開議、午後4時36分散会、小委員長　佐々木豊(自民)

小委員長の互選

高橋(正)臨時小委員長から、小委員長互選の方法についてはかり、武藤委員(社会)の動議により指名推せんの方法により、佐々木(豊)委員(自民)を小委員長に選出。

文教林務委員会

○8月10日　午前11時25分、第10委員会室において開議、午後4時30分散会、委員長　高田　治郎(社会)

一般議事

① 委員長から、さきに実施した46年度文教林務関係国費予算ならびに教職員産業教育手当の改善、私立高等学校教育の振興と父母負担の軽減および民有林造林事業の振興にかかる要望に関する中央折衝の経過について、報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 林務部長から、7月31日発生の上川、北空知地方集中豪雨災害による被害状況について説明の後、

青木委員(社会)から、現行制度上における災害復旧費の道、市町村の負担区分、国有林の被害状況

について質疑があり、林務部長から答弁。

③ 学事課長から、46年度開発予算要望事項について説明の後、

湯田委員(社会)から、国連国際大学の誘致立候補カ所、国立医大のカ所づけの時期、

大沢委員(自民)から、国連国際大学の国連における具体的設置カ所、

青木委員(社会)から、国立医科大学の設置カ所の考え方、商船大学誘致に対する道の主体性、

高橋(辰)委員(自民)から、国立医大問題の総務委員会との連けい、誘致に対する明確な態度を示す必要性

について質疑、意見および要望があり、学事課長から答弁、議事進行の都合により午前11時50分休憩、午後零時10分再開。

④ 原委員(社会)から、札幌南校紛争に関し、紛争解決に対する基本的な考え方、生徒会に対する学校長の指導の責任と教育的解決の必要性、

大沢委員(自民)から、生徒のスト権、

新川委員(社会)から、札幌南校教員のアルバイト状況の資料

について質疑、意見および要求があり、教育長および学校教育課長から答弁、議事進行の都合により午後零時35分休憩、午後2時20分再開し、引き続き、

原委員(社会)から、夏期休業の延期理由と学校側の責任および単位修得への影響、生徒処分の規模と処分発効の要件および処分の理由、道教委に対する事前連絡の有無、PTA会長の辞任の背景、授業日数からのリミット、

湯田委員(社会)から、処分に対する事実誤認の場合の措置、PTA役員の辞任に対する考え方、授業再開の見通し、処分に対する調査方法、校長とPTA会長の話し合いの必要性、

林委員(純正無)から、PTA役員の辞任に対する考え方、紛争解決のあり方、

新川委員(社会)から、処分による紛争の長期化、学校側の生徒に対する指導のあり方、道教委が解決にのり出す考え、処分に対する慎重な取り扱い、

高橋(辰)委員(自民)から、PTA役員の辞任と生徒処分の決定、学校教育の正常化の必要性、

大沢委員(自民)から、PTA役員の辞任の理由

について質疑、意見および要望があり、学校教育課長および教育長から答弁、議事進行の都合により午後3時35分休憩、午後4時10分再開、ついで、教育長から、札幌南校の紛争収拾に対する考え方について答弁

の後、湯田委員(社会)から、本日の委員会において札幌南校校長およびＰＴＡ会長から意見を聴取したい旨の動議が提出され、賛成あつて動議成立、高橋(辰)委員(自民)、新川委員(社会)および林委員(純正無)から意見の交換の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手少数（反対自民、純正無）にてこれを否決。

○９月３日　午前11時45分、第10委員会室において開議、午後２時13分散会、委員長　高田　治郎(社会)

一　般　議　事

①　林務部長および教育長から、台風９号による林業関係および文教関係施設の被害状況とこれが措置対策ならびに８月11日の砂川南高校の火災発生状況について説明の後、

湯田委員(社会)から、道立学校の被害復旧費に関し、第３回定例会に補正予算計上または専決処分の考え

について質疑、教育庁管理部長から答弁。

②　林務部長から、北空知地方における集中豪雨災害復旧費の専決処分について説明。

③　教育長から、札幌南高校紛争のその後の経過について説明の後、

青木委員(社会)から、処分撤回についての措置内容、処分解除の基準の有無、授業再開のための確認事項の指導と処分行為に対する考え方、処分の取り扱いに対する教育委員会の審議の有無および明確な見解をもつ必要性

について質疑および意見があり、学校教育課長および教育長から答弁、林委員(純正無)から関連質問したい旨の発言があり、この取り扱い協議のため午後零時25分休憩、午後零時30分再開、教育長から休憩前の青木委員(社会)の質疑に対する答弁の後、

青木委員(社会)から、父兄、生徒あての文書の指導と処分措置に対する考え方、停学処分と教育的指導の関連および見解、処分者の復学に対する考え方、道教委のなかで南高紛争に関し専従体制をとる考え、南高の正常化に対する配慮方、

林委員(純正無)から、留年停学に対する見解、復学に対する十分な配慮方、８月15日の乱入事件による被害の内容とその後の逮捕者の有無、

原委員(社会)から、生徒の処分に際し事実調査の有無と処分の適確性、解決方法、生徒と学校との対話による解決に対する見解、

新川委員(社会)から、南高の処分は異例なことに属することについての見解および学校長から事前相談の必要性、南高問題研究協議会の任務内容、

湯田委員(社会)から、芽室におけるＰＴＡ研究大会の発言に関連し、同大会での発言内容の適否とその根拠、層雲峡における都市教育委員会連合会の発言に関し、特別昇給の実施に対する発言の内容

等について質疑、意見および要望があり、教育長から答弁。

④　委員長から、道内および道外における文教林務事情調査の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、日程等については、委員長に一任することとした。

本日聴取した陳情

紋別北高等学校校舎改築について
紋別北高等学校校舎改築期成会会長

札幌南高等学校紛争について
札幌南高等学校父母有志代表

特別委員会

総合開発調査特別委員会

○８月21日　午後２時６分、第８委員会室において開議、午後５時26分散会、委員長　天谷　平信（自民）

① 合坪委員（社会）から、青函トンネルおよび北海道新幹線鉄道建設の早期実現促進ならびに昭和46年度開発予算に関する中央折衝および北海道開発審議会の概要について報告、異議なくこれを了承。

② 企画部長から、国有鉄道の合理化等に関し説明の後、

奥野（一）委員（社会）から、全道４線の合理化についての地元住民との話し合いの内容に関する資料、関係市町村と国鉄との話し合いに道が介入の有無、第３期計画で示している国鉄に関する部分に対する実施の方法、

大石委員（社会）から、斜里バスの経営状況および除雪に対する補助措置

等について質疑、意見および要望があり、企画部長から答弁。

③ 委員長から、国鉄の合理化の重要性にかんがみ、当委員会として国鉄道総局に対し申し入れを行ないたい旨をはかり、

大石委員（社会）から、道を含めて方針を明確にしてから国鉄に対処方

について意見があり、委員長から応答があつて、異議なくそのことに決定。

④ 委員長から、さきの委員会において要求のあつた山村振興事業の成績、広域市町村圏および過疎市町村に関する資料の提出があつた旨を報告。

⑤ 企画部長から、提出資料について説明の後、

亀井委員（社会）から、過疎地域緊急措置法による道の振興方針ほか２件について資料提出ができない理由、

大石委員（社会）から、過疎地域対策緊急措置法に関し、本道における過疎対策の実施方針、広域市町村圏に関し、協議団体の設立の考えと市町村の振興方針に対する道の指導、過疎地域の労働力移動の方向、準過疎地域の過疎法適用外市町村のうち過疎地域指定要件のいずれかに該当する市町村についての資料

について質疑、意見および要求があり、企画部長から答弁。

⑥ 影山委員（社会）から、道公害防止条例による志村化工の改善命令に対するその後の企業側の対処姿勢および排水による前浜の実地調査の必要性、道内河川の総点検の必要性、特に石狩川の水質調査の実施、洞爺湖の水質汚染対策、苫小牧東部工場と団地の建設計画の内容、苫小牧工業港のヘドロ対策

合坪委員（社会）から、志村化工の排水規制に関連し、他の工場で発生の類似の問題で金銭的に解決している実態に対する見解、

大石委員（社会）から、公害防止条例に関し、落石、光化学公害の項目に対する検討と改正の必要性、国立医科大学設置ヵ所の早期決定方および卒業生の都市偏重に対する見解、

亀井委員（社会）から、道および市町村の公害関係機関における職員数の不足の有無、警察の公害対策に対する権限についての考え方、

佐藤（幹）委員（自民）から、過疎、公害問題に対する関係常任委員会との調整の必要性

等について質疑、意見および要望があり、企画部長から答弁、委員長から応答。

○９月２日　午前11時19分、第８委員会室において開議、午後零時19分散会、委員長　天谷　平信（自民）

① 企画部長から、昭和46年度予算要求要領に関し、８月20日開催の開発審議会において保留された事項についての決定内容ならびに昭和46年度北海道開発予算概算要求事項について説明の後、

大石委員（社会）から、第３期計画の初年度に必要な開発予算額と開発庁の要求額との格差および調整の時点、昭和46年度予算要求要領でいう「北海道の特性に即した農地流動化」の内容、

影山委員（社会）から、道路災害対策など緊急性のあるものの予算減少に対する考え方

等について質疑および意見があり、企画部長から答弁。

② 委員長から、さきの委員会において要求あつた国鉄合理化ならびに第３期計画に関する資料の提出があつた旨を報告。

○９月４日　午前11時30分、第８委員会室において開議、午後１時35分散会、委員長　天谷　平信（自民）

① 委員長から、７月31日の委員会において要求のあつた過疎地域振興関係資料の提出があつた旨を報告。

② 企画部長から、さきの委員会において提出のあつた国有鉄道の合理化に関する資料について説明の後、

奥野（一）委員（社会）から、国鉄の合理化に関連し、海岸道路のトラック輸送増加に対する対応策、無人化駅の貨物の取り扱い方法、第２国鉄構想に対し道の反

対意思表明の必要性、

大石委員(社会)から、近代化、合理化の意味、納得する住民の範囲

等について質疑および意見があり、企画部長から答弁。

③ 企画部長から、さきの委員会において提出のあつた第3期計画に関する資料について説明の後、

亀井委員(社会)から、公害課の人員増強と機材の配置に対する考え方、公害対策本部の取り上げる範囲および日照権、原子力、基地公害に対する取り組み方、公害測定結果の公表の迅速化、

奥野(一)委員(社会)から、現在町村独自で実施している公害調査を道で実施することについての見解、

合坪委員(社会)から、志村加工に対する道の勧告措置に関連し、他の大企業に対する規制措置の検討方、

大石委員(社会)から、中小企業の企業施設改善資金の申し込み状況と資金の関係、広域市町村圏の図表および松前の原子力発電所に関する資料

等について質疑、意見、要望および要求があり、企画部長から答弁。

石炭対策特別委員会

○9月16日　午後2時20分、第8委員会室において開議、午後3時7分散会、委員長　大久保　和男(自民)

① 高橋(俊)委員(社会)から、さきに東京都で開催の石炭関係6団体連絡会議の概要について報告、異議なくこれを了承。

(2) 委員長から、9月21日開催の石炭関係6団体代表会議に委員を派遣することについてはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、派遣日程等については、委員長に一任することとした。

③ 商工部長から、羽幌炭鉱の会社更生法の適用申請に伴う経過について説明の後、

武藤委員(社会)から、倒産の原因、会社更生法の適用申請に当たつて事前に道に相談の有無、合理化による解雇者の退職金に対する融資の可能性、引き抜き等による労働力流出の防止対策、暖房用炭山の存続に対する道の決意、羽幌炭鉱の存続再建に対する委員会としての決意

等について質疑、意見および要望があり、商工部長および労働部長から答弁、委員長から、本問題について委員会として存続を推進していくことをはかり、異議なくそのことに決定、なお、今後本問題に関し、緊急事態の発生あるいは中央折衝等の必要性に応じその取り扱いを理事会に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

④ 川合委員(社会)から、最近の道内炭鉱の深部稼行に伴う坑内温度の上昇を抑制する必要性と設備改善の予算措置および対策研究の必要性

について質疑、意見および要望があり、商工部長および労働部長から答弁。

本日聴取した陳情

羽幌炭鉱の会社更生法適用申請に伴う諸対策について

羽　幌　町　長
羽幌炭鉱労働組合執行委員長

札幌オリンピック冬季大会特別委員会

○8月4日　午後3時40分、第8委員会室において開議、午後3時36分散会、委員長　森　春一(自民)

① 委員長から、委員の辞任および選任に伴う議席の一部変更についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。

② 総務部長から、46年度札幌冬季オリンピック関係国費予算の要求概要について説明。

③ 委員長から、46年度札幌冬季オリンピック関係国費予算要望に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣日程および派遣委員については、委員長に一任することとした。

北方領土対策特別委員会

○8月21日　午後1時11分、第1委員会室において開議、午後4時15分散会、委員長事故のため副委員長　野中　冨雄(社会)

① 副委員長から、7月27日来道の参議院沖縄および北方問題等に関する特別委員、8月18日来道の衆議院外務委員に対し北方領土問題について要請した旨を報告。

② 総務部長から、昭和45年度北方地域への墓参のその後の経過について説明の後、

青木委員(社会)から、慰霊碑や墓標を建立することに対する考え方

について質疑があり、総務部長から答弁。

③ 領対本部長から、支庁地域推進委員会における北方領土復帰運動の活動状況について説明の後、

青木委員(社会)から、元千島居住者に対する調査の早期実施およびその調査方法、地区大会開催の諸経費

に対する予算化
等について質疑、意見および要望があり、総務部長および領対本部長から答弁。

④ 総務部長および水産部長から、昭和46年度北海道関係予算主要要望事項について説明の後、
　松浦委員(自民)から、北方海域だ捕漁船の見舞い金に関し、留守家庭全部について要求方、第13福寿丸事件のその後の経過、
　青木委員(社会)から、北方海域におけるだ捕漁船の防止のためのパトロール船の必要隻数および国に対する折衝の必要性
について質疑、意見および要望があり、水産部長から答弁。

⑤ 領対本部長から、神戸市における北方領土復帰促進北海道デー開催要領について説明を聴取の後、関係団体との懇談会開催のため、午後２時５分休憩（休憩中、北方領土復帰期成同盟、千島歯舞諸島居住者連盟、北方領土問題対策協会の関係者から業務の概要の説明および北方領土復帰問題に対する意見の聴取ならびに各委員の意見の交換を行なつた。)、午後４時13分再開。

⑥ 委員長から、９月６日神戸市において開催の北方領土復帰促進北海道デーの出席および他府県に対する領土復帰促進決議要請の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、日程については、委員長に一任することとした。

○９月３日　午前10時52分、第８委員会室において開議、午前10時55分散会、委員長事故のため副委員長　野中　冨雄(社会)

① 総務部長から、北方地域における墓参に関するその後の経過について説明。

② 副委員長から、昭和46年度北方関係主要事項に関する中央折衝ならびに他府県に対する北方領土復帰促進協力要請の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、日程等については、委員長に一任することとした。

会合

全国都道府県議会議長会

○9月26日　都道府県会館において建設商工運輸委員会を開催、委員長（奈良県議長）のあいさつに引き続き、運輸省鉄道監督局財政課長、自治省大臣官房参事官から国鉄財政の危機、国鉄財政再建計画について説明を聴取の後、今後の方針等を協議して閉会した。

10都道府県議会議長会

○8月19日　北海道において開催、つぎの事項について協議し、関係方面に要望することとした。

1　公害防止対策の強化について
2　社会保障5カ年計画の策定について
3　老人医療対策について
4　公共用水域の水質汚濁対策について
5　国鉄合理化対策について
6　公共下水道整備事業の推進について
7　公害防止対策の推進について
8　自動車の排気ガスによる公害防止対策の早期確立について
9　青函トンネルの早期完成について
10　米の生産調整対策の3カ年継続実施とこれに対応する農業施策の推進について
11　昭和45年度調整水田に対する生産調整奨励補助金に係る所得税課税上の特例措置について
12　農村工業化促進法（仮称）の早期制定について
13　社会福祉関係貸付金の原資増額について
14　東北大学に薬学部創設について
15　公立文教施設の整備について
16　地方道とくに町村道の整備促進について
17　公共下水道に対する国庫補助対象枠の拡大と補助率の引上げについて
18　中小企業信用保証制度の改善について
19　「国が行なう民有林野の分収造林に関する特別措置法」の制定促進について
20　大規模林業圏開発基本計画調査事業の実施促進について
21　都道府県と市町村を結ぶ防災無線施設の国庫補助制度の制定について
22　尾瀬分水反対について

北海道東北6県議会議長会

○9月9、10日の両日　福島県において開催、つぎの事項について協議し、関係方面に要望することとした。

1　青函トンネルの早期完成について
2　国鉄財政再建のための経営合理化施策の再検討について
3　自動車の排気ガスによる公害防止対策の早期確立について
4　公害センター建設、調査測定機器等整備に要する経費に対する国の助成について
5　鉱害防止対策について
6　家畜改良体制の整備について
7　畜産の振興について
8　北方海域における漁業安全操業の早期確立について
9　さけ・ますはえなわ漁業の流し網漁業への転換促進について

資　料

道内主要政党および道議会各派役員一覧

（45.9.20現在）

自由民主党

会長	佐々木 秀世	総務副会長	玉村 直一
副会長	地崎 宇三郎	政務調査会長	中松 英二
同	中川 一郎	同　副会長	滝沢 勉
同	大沢 重太郎	同	高橋 正四郎
同	堀田 毅	同	三上 勇
幹事長	杉本 栄一	同	阿部 恵三男
副幹事長	佐藤 幹夫	同	東 典俊
同	佐々木 豊	選挙対策委員長	深山 和図
同	小川 謙二郎	同　副委員長	伊藤 作一
同	佐藤 八重子	同	池田 金助
同	稲田 満郎	同	倉増 新八郎
財務委員長	岩田 徳治	同	大内 三治
同　副委員長	大沢 重太郎	党紀委員長	福島 新太郎
同	朝日 昇	同　副委員長	大久保 和男
同	大久保 和男	同	山元 ミヨ
同	新谷 市造	同	桶谷 利男
同	宮本 義勝	教育振興特別委員長	高橋 辰夫
同	徳中 康満	道民運動本部長	高橋 源次郎
同	松浦 義信	寒地農業推進特別委員長	黒松 秀夫
同	石林 清	北方領土復帰対策本部長	二瓶 栄吾
組織委員長	宮本 義勝	労働対策特別委員長	石林 清
同　副委員長	田中 正苗	総合開発特別委員長	高橋 賢一
同	山口 政一	国鉄廃止路線対策本部長	伊藤 弘
同	西尾 六七	会計監督	井川 伊平
同	松浦 義信	同	新谷 市造
同	作田 政次	同	大橋 登吉
同	宇野 真平	議員会長	大久保 和男
同	畑野 スミ	同　副会長	岩田 徳治
広報委員長	五十嵐 長寿	同	佐々木 豊
同　副委員長	阿部 恵三男	議会対策委員長	神部 俊郎
同	西村 慎一	同　副委員長	滝沢 勉
同	中山 豊士	政策審議委員長	佐藤 幹夫
同	高木 繁光	同　副委員長	宮本 義勝
総務会長	川口 常一	同	阿部 恵三男
同　副会長	伊藤 弘	同	高橋 正四郎
同	黒松 秀夫	同	三上 勇
同	高橋 賢一	会計	石畑 久成
同	池田 金助		

日本社会党

執行委員長	小林 武
副執行委員長	道下 美作
同	大石 利雄
書記長	山下 策雄
書記次長	関根 建二
組織局長	村本 政信
農漁民局長	野口 希彦
労働局長	越智 喜代秋
青年婦人局長	横路 孝弘
国民運動局長	泊谷 裕夫
地方政治局長	伊藤 満夫
道議会対策委員長	湯田 倉治
政策審議委員長	亀井 忠衛
選挙対策委員長	岡田 伸夫
財務委員長	高田 治郎
統制委員長	中川 秀夫
議員会長	大石 利雄
議員副会長	山田 勲
幹事長	湯田 倉治
副幹事長	原 清重

民社党		公明党		日本共産党	
執行委員長	小平　忠	本部長	斎藤　実	委員長	西館　仁
副執行委員長	戸部卯吉	副本部長	藤原房雄	委員長代理	中川一男
同	望月武義	同	相沢武彦	副委員長	豊島俊男
同	南　道郎	書記長	野村光雄	常任委員	荒井英二
書記長	津川直一	組織局長	高橋　鉱	同	後藤鉄治
政策審議委員長	辰田義太郎	組織局次長	浅野俊一	同	瀬戸川元信
総務・財務局長	日詰豊作	政策局長	乙川節郎	同	水落恒彦
組織局長	川崎義之	政策局次長	鯉登義夫	同	阿部勘吾
教宣局長	戸田実津男	広報宣伝局長	田畔　満	同	五十嵐久弥
選対委員長	戸部卯吉	広報宣伝局次長	佐藤　順	同	市山吉次
労働対策委員長	永田　守	地方統制委員長	柳谷正一	同	越前小平
農林対策委員長	宮野正勝	地方統制委員	中島五郎	同	多田光雄
漁業対策委員長	長沢庄太郎	同	柴田政邦		
中小企業対策委員長	窪田　博	会計監査	笹谷　博		
青年学生対策委員長	鎌田明義	同	大賀　操		
婦人対策委員長	遠藤留貴子	同	石田　徹		
国民運動委員長	池田俊雄				
議会対策委員長	名畑　磐				

第2回定例会において議決を経た条例の公布調

件名	議決月日	公布月日 公布番号
保健所設置条例等の一部を改正する条例	3．27 専決処分	4．1 道条例 第35号
北海道税条例の一部を改正する条例	7．22 承認議決	4．17 道条例 第36号
風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例	6．3 専決処分	6．9 道条例 第37号
北海道地方警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例	7．22 原案可決	7．23 道条例 第38号
北海道特別職職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	同	同 道条例 第39号
北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同 道条例 第40号
北海道職員等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同 道条例 第41号
北海道恩給条例等の一部を改正する条例	同	同 道条例 第42号
北海道恩給並びに他の地方公共団体の退職年金及び退職一時金の基礎となるべき在職期間と職員の退隠料及び退職給与金の基礎となるべき在職期間との通算に関する条例等の一部を改正する条例	同	同 道条例 第43号
北海道日雇労働者就職促進等助成条例の一部を改正する条例	同	同 道条例 第44号
警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例	同	同 道条例 第45号

8月のメモ

1 ○上川、北空知地方に集中豪雨災害（約8,789戸、浸水被害額15億7,000万円、上川町に災害救助法を適用）。

○登別町、市制施行、道内で30番目。

4 ○海中公園センター学術調査団、積丹海岸の現地調査を始める。

6 ○道、米生産調整の最終数量を発表、目標数量8万6,700トンに対し確定数量25万8,659トン、2.98倍。

7 ○経済企画庁、44年度の国民所得統計を発表、国民総生産62兆7,206億円で世界第3位、1人当り国民所得48万487円、経済成長率名目18.8%（実質13.0%）の伸び。

○都市計画中央審議会、下水道整備、土地区画整理および駐車場整備について答申。

8 ○札幌南高校、学校紛争関係の生徒の大量処分を決める。

12 ○ソ連、西ドイツ、武力不行使条約に調印。

○道、開発功労賞に安孫子孝次氏ほか4名受賞を決める。

14 ○自治省、本年度の地下鉄事業債の許可額を決定、札幌130億円。

○建設省、公害対策推進本部を設置、第1回会合で下水道整備促進など公害対策推進要綱を決定。

16 ○台風9号、本道に上陸、各地で被害（リンゴなど19億円被害）。

17 ○外資審議会、第3次資本自由化について323業種を答申。

○在日米軍統合司令部、千歳の米軍クマ基地撤収を発表、45年7月から46年6月までに機能停止、日本人従業員814人を段階的に整理。

20 ○道開発審議会、46年度予算要求要領について答申、青函トンネルの建設促進および新幹線建設について付帯意見。

○水質審議会、全国49水域の環境基準について答申、水域別にランク付け、石狩川上流はＡＡ、常呂川上流はＡ、十勝川下流はＢなど。

21 ○厚生省、全国の地方公共団体の児童手当、出生手当の実施状況を発表、7都道県、177市、23区、95町、38村で実施、本道では、児童手当札幌市ほか23市町村、出生手当枝幸町ほか2町村。

○余市郡漁協組、札幌防衛施設局と余市の魚雷艇基地の補償問題で覚え書きに調印、補償額7,000万円。

22 ○警察庁、44年1年間の犯罪白書を発表、ふえる犯罪減る検挙、せつ盗全体の8割。

25 ○閣議、公務員給与引き上げに関する人事院勧告の完全実施および公務員の定員削減計画を決定、47年度から3年で5%、4万5,000人を削減。

○建設省、第3次下水道整備5カ年計画の大要決定。

○道、公害対策本部を設置、本部長に町村知事。

27 ○建設省、第2期住宅建設5カ年計画の構想をまとめる、46年度総計950万戸建設。

○道、食品衛生問題連絡会議を設置、農林産食品、畜産食品、水産食品、一般食品の4部会を設け、食品の安全と事故防止対策を進める。

28 ○厚生省、44年度簡易生命表を発表、平均寿命男69.18歳、女74.67歳、伸び鈍り欧米型へ。

29 ○道自治研修所、地方自治研修50周年を迎え記念式典を行なう、多くの人材を育てる。

31 ○最高検察庁、検察首脳会議で札幌医科大学和田寿郎教授を不起訴処分に決定、立証のきめ手なし。

○農林省道内4統計事務所、本年産ジャガイモの生産高を発表、200万トン、平年比25%増収見込み。

○文部省、学校基本調査結果をまとめる、本道過疎化による統廃合（小50校、中54校）目だつ。

9月のメモ

1 ○農林省、45年産水稲の作況（8月15日現在）を閣議に報告、1,442万トンで史上3位の豊作。

○厚生省、水銀による環境汚染調査の44年度調査結果を発表、過半数が基準越す。

○砂原村、町制施行。

○道教委、45年度の道教育功績者後藤三郎氏ほか9名決定。

2 ○北海道百年記念塔落成式挙行。

○羽幌炭砿、会社更生法適用を申請、負債総額60億。

4 ○労働省、賃金・労働時間制総合調査の結果を発表、週48時間制50％割る。

○自治相、参院公選法特別委員会で選挙権の年齢引き下げ「18歳から」を検討始めたことを明らかにした。

○石油審議会、昭和48年度までに操業する石油精製特定設備の新、増設12社、14製油所の許可を答申、本道関係出光苫小牧、日石室蘭の2カ所。

7 ○自治省、来春の統一選挙方針を決定、都道府県、6大市は4月11日、特別区、市町村は4月25日。

○農林省、昨年1年間の水産物流通統計を発表、釧路港水揚げ量で日本一。

10 ○政府、わが国の直面する経済重要問題に関する基本方針を最終決定、残存輸入制限の自由化繰り上げ、特恵供与の競争力条項の廃止など。

○道教委、45年度北海道スポーツ賞に中村末雄氏ほか6人、3団体を決定。

11 ○日本学術会議公害問題特別委、初の「公害シンポジウム」を開く。

○国連大学北海道誘致促進期成会設立総会を開く、会長に町村知事決定。

13 ○日本万国博覧会終わる、総入場者数史上最高 6,421万8,770人。

14 ○経済企画庁、新産業都市工業整備特別地区の現況をまとめる、道央進ちょく率50％。

16 ○閣議、パルプ、紙、石油化学工業など11業種の公害取り締り権限の地方移譲を決定。

○児童手当審議会、児童手当制度大綱を中間答申、3子以降の児童月額3,000円を46年度から発足の意見を付す。

○鉄道建設審議会、青函トンネルの工事線昇格を答申。

17 ○全国市長会、全国564市の44年度普通会計の決算状況をまとめ発表、赤字55市に減る。

○日本開発銀行、45、46年度の設備投資計画についての調査結果を発表、27.6％の伸び、基幹産業は依然増勢。

18 ○厚生省、保育所整備5カ年計画をまとめる、46年度を初年度に希望者全員を収容。

○運輸審議会、北海道と青森の3フェリー航路新設を認め答申。

21 ○第9回国政に関する公聴会（1日内閣）開く（宇都宮市）。

○札幌通産局、北海道における石油パイプライン輸送計画基本構想を発表、苫小牧～札幌など3ライン、建設費110億円、50年までに開通。

22 ○道開発庁、苫小牧東部大規模工業基地開発委員会メンバー、鈴木雅次氏ほか14人決定。

○道労働部、米軍千歳基地離職者の意向調査結果と今後の対策を発表、62％が官公庁希望。

23 ○戦後6回目の北方墓参団根室港出発（国後、勇留、多楽3島をめぐり25日帰港）。

24 ○農林省、ことしの米の生産調整の実態調査結果を公表、本道は目標の299％。

27 ○自治省、地方公営企業2,803事業の決算概況をまとめる、累積赤字の事業数1,032事業。

○社会党、今後5年間の日本農業の進路を示す農業改革試案を発表。

28 ○全道帯広ほか7市、韓国から朝鮮へ国籍書き換え開始。

29 ○第3回定例道議会開会。